

Since 2002

アドプト現場に **ADOPT REPORT** おじゃましました！

グリーンタウンお掃除クラブ

7月6日はグリーンタウンお掃除クラブ(納田孝彦代表)のアドプト清掃におじゃましました。グリーンタウンは板野郡北島町の旧吉野川沿いに広がる住宅地。河川清掃を通して住民同士の横の繋がりを、という故・滝寿男さんと納田さんの呼びかけで2002年5月からアドプト・プログラム吉野川に参加しています。奇数月の第1土曜が清掃日。担当エリアは新高橋～共栄橋の区間1300mです。

8時30分、アドプトの幟のもとに集まってきた住民の皆さん。と、やおら車から脚立を下ろす夫婦を発見。気になって跡を追うと、脚立で土堤に降り、雑草に埋もれたゴミや水際のペットボトルまで念入りに拾っています。「あ～届かない」「あともうちょっと……取れた!!」と声を弾ませる勢原さん夫婦。聞けば



←スペシャルなお掃除道具を図解してご紹介！

↓マイ脚立持参で、この日も清掃にかけつけた勢原ご夫婦



吉野川を私たちの手でもっときれいに！
清掃活動中の現場に取材にうかがいます。
活動日が決まったら、まずは事務局にお知らせください。



この日が131回目の清掃活動。
参加人数は累計2500人！



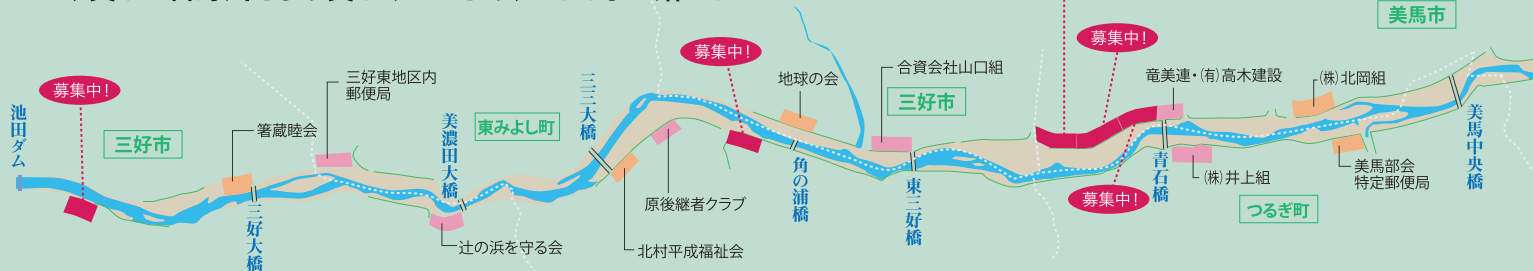
今は引越して別の街の住人ですが、ずっと清掃に通っているのだとか。「長年お世話になった街なので。それにゴミ拾いはけっこう達成感があります」と奥さん。そうでしょうと。

かと思えば、村上正明さんは鉄工所勤務の経験を活かして専用ツールを手作り(図解)。ステンレス製の棒の両側に熊手と火挟が装着されており、しかもこの棒は伸縮自在。ぐーんと伸ばして、遠くに浮かぶゴミを熊手でかき寄せ、火挟でキャッチします。村上さんが拾い上げたゴミをまとめる人、不法投棄のタイヤやテレビなどの大物を車や自転車で運ぶ人……連携プレーで皆さん生き生きと。こんなに本気で河川清掃を楽しんでいる人達、初めてかも……。ボランティアってこんなに楽しいものなんだな、と清々しい気持ちになりました。



四国三郎・吉野川はかけがえのない私たちの家族 参加しよう! アドプト・プログラム吉野川

徳島の宝物“吉野川”を私たち自身の手で守ろうというボランティア活動で、美しい吉野川をより美しく——さあ、いっしょに始めませんか！



①アドプトとは“養子縁組”のこと

吉野川の土手や河川敷を子どもに見立て、その一定区間と企業や住民グループが養子縁組(Adopt)します。吉野川を自分の子どものかわいがってくださいね。

②清掃美化ボランティアを行います

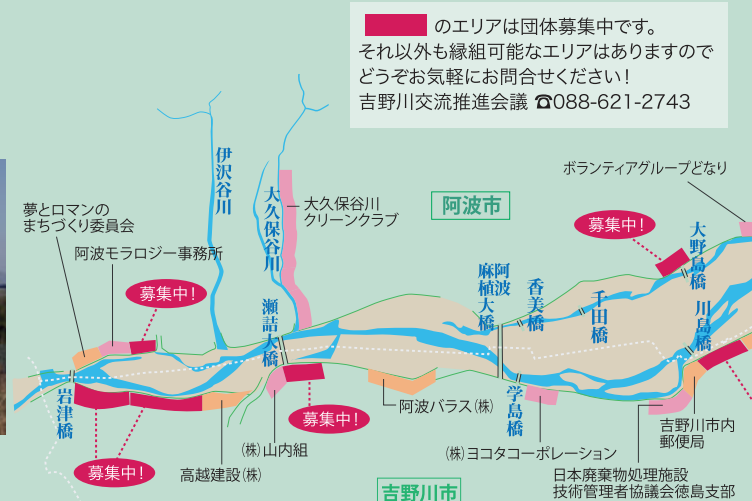
担当する区間の清掃・美化活動を定期的に行います。活動を続けることで、どんどん吉野川への愛着が深まります。

③看板が立ちます

吉野川の土手や河川敷に、団体の名前を記した看板が立ちます。ちょっと誇らしい気持ちになります。

④こんな効果があります

ゴミが少なくなり、吉野川が美しく、清潔に保たれます。それと同時に、参加した人の心まできれいになります。汗を流してゴミを拾ったら、ゴミを捨てられなくなります。また、この活動を目にする多くの人の環境への意識を高め、川を大切にする人の輪がますます広がることが期待できます。



のエリアは団体募集中です。
それ以外も縁組可能なエリアはありますので
どうぞお気軽にお問合せください！
吉野川交流推進会議 ☎088-621-2743